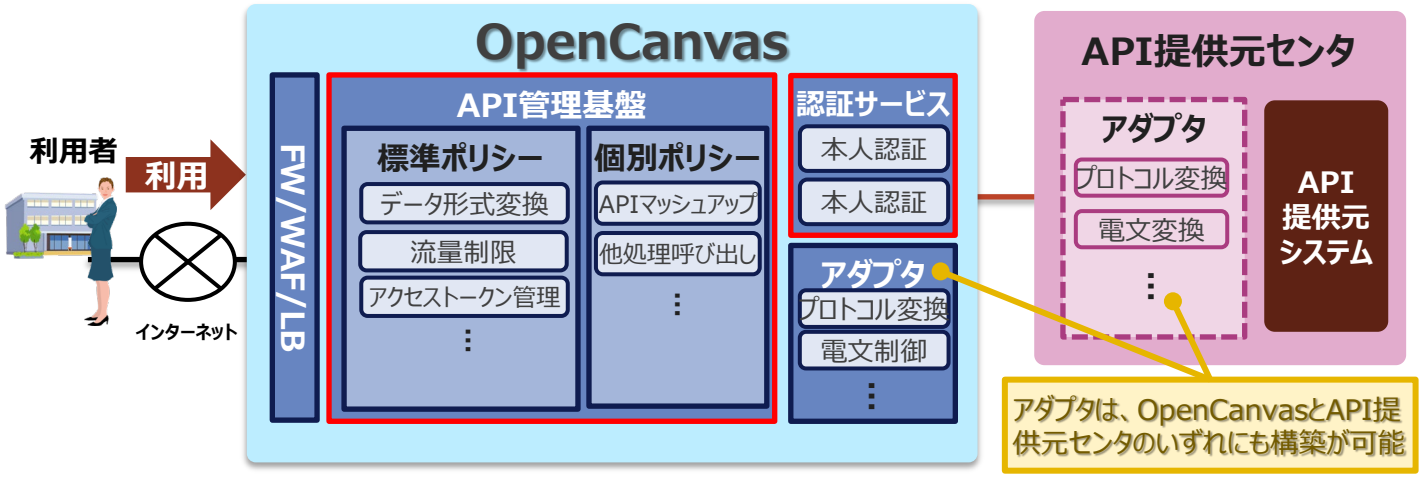
OpenCanvas
API管理基盤・認証サービスのご紹介

1.APIを公開するために必要とされるもの

外部にAPIを公開するにあたって必要とされるものとして、外部に安全・効率的にAPIの公開を可能とする『API管理基盤』と、本人であることを確認するための『認証手段』が必要と考えます。
OpenCanvasでは、これらを実現するための手段を提供いたします。



2. API管理基盤の特徴

APIを外部に安全・効率的に公開するための機能を具備した、API管理基盤をご提供いたします。
一般的にAPIを公開するにあたって必要とされる機能の提供から、ご利用者様の運用負荷を極力削減できるよう、『API開発者ポータル』や『運用端末』についてもご提供いたします。

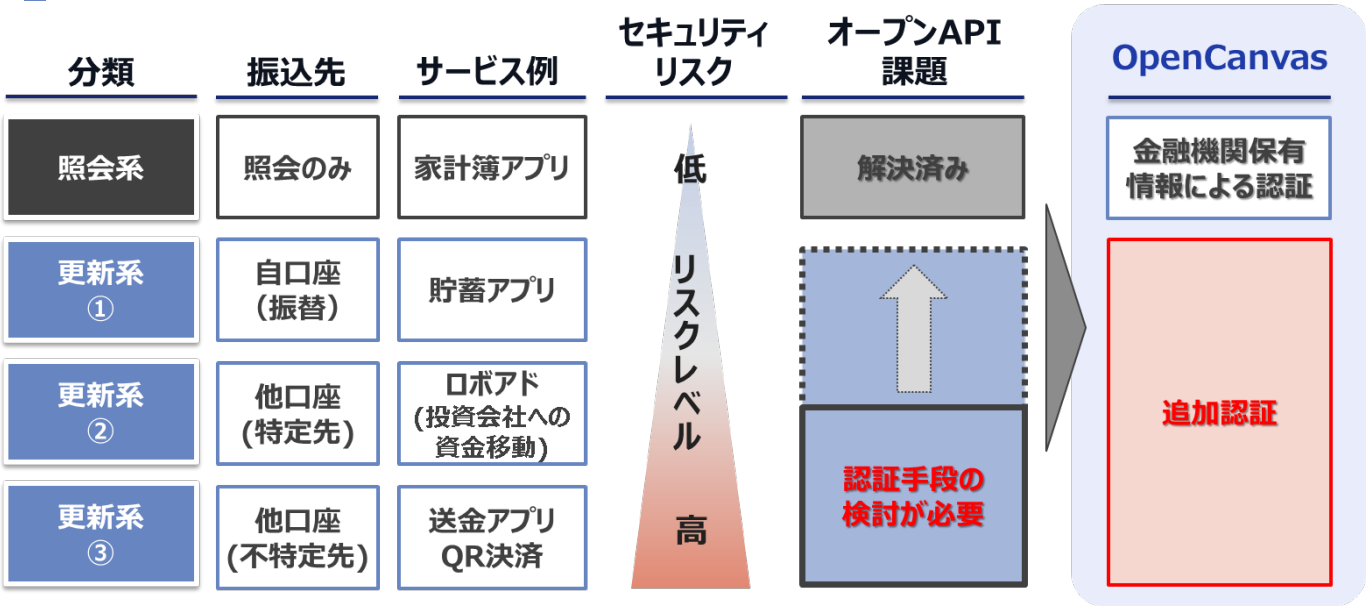
APIを公開するための必要機能の提供	OAuth2.0フレームワークへの対応、外部からのアクセスをコントロールする流量制限等のAPIを外部に公開するにあたって必要とされる基本的な機能を提供いたします。
共同利用型をフル活用した機能追加	多くのお客様にご利用いただくシステムであることを最大限活用し、継続的な機能追加を実施いたします。APIを公開する際に求められる各種セキュリティ事項へ準拠したAPIを実装いたします。
業務要件定義フェーズにおける参画	外部に公開するAPIを構築するにあたっては、システム的にAPIを構築するだけでなく、実際にAPIを活用した業務を意識した要件定義・設計が必要となります。 弊社では、数多くのAPIを構築してきた実績を活かし、業務要件定義から強力に利用者様をご支援いたします。
開発者ポータルの提供	構築したAPIの仕様を外部に公開するためのAPI開発者ポータルを提供しております。こちらをご活用いただくことで、構築したAPIの仕様を外部に公開することが可能になります。 すでに複数のAPIについて仕様の公開を行っており、いつでも仕様を確認いただける状態となっております。 OpenCanvas API開発者ポータル

© 2018 NTT DATA Corporation
NTT DATA

OpenCanvas
API管理基盤・認証サービスのご紹介

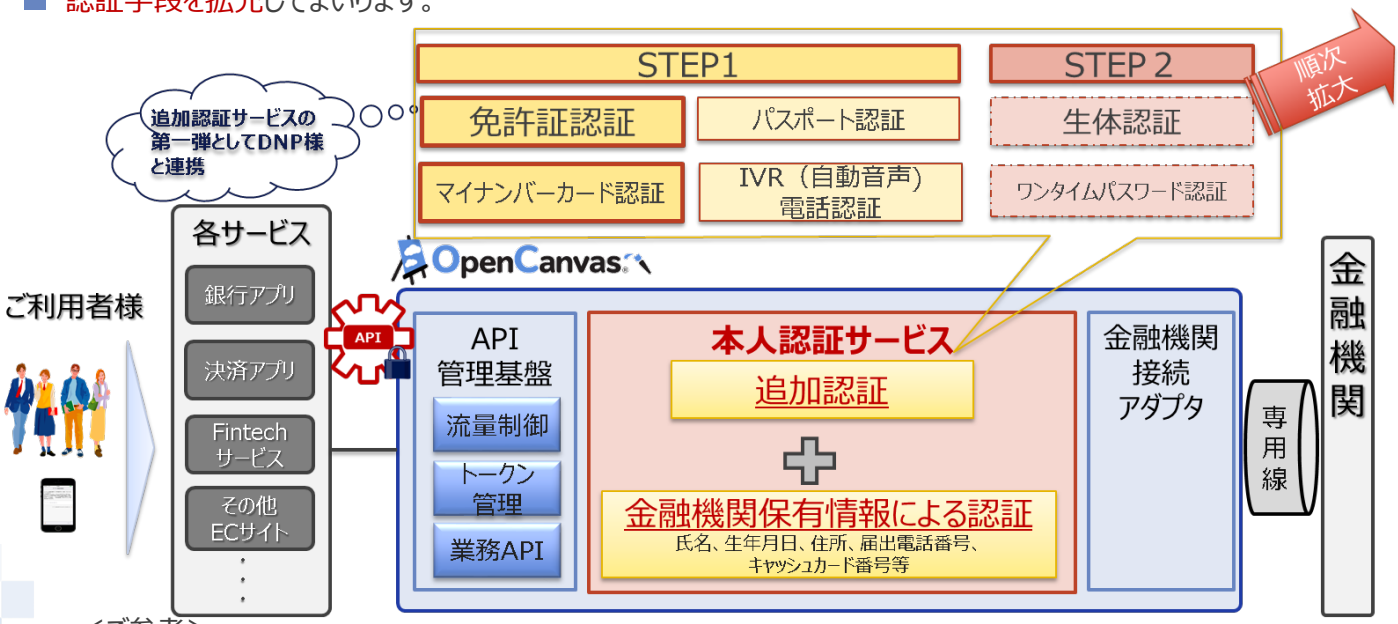
3. 公開するAPIと認証強度について

参照系から更新系のAPIの公開までに対応するにはユーザをどのように認証するのかの検討が必要になります。特に更新系APIを公開するにあたっては、認証サービスでどこまでの認証強度に対応できるかが重要になり、今後の第三者送金やQRコード決済等の金融サービスの広がりを考える場合に、認証サービスのサービス性は非常に重要になってくると考えております。



4. 認証サービスの特徴

OpenCanvasの認証サービスでは、参照系から更新系のAPIの公開までに対応する認証サービスを提供いたします。参照系はもちろん、更新系APIの拡充に対応が可能な、追加認証についても提供し、継続的に追加認証手段を拡充してまいります。



＜ご参考＞

2018年5月31日 弊社ニュースリリース
『金融向けクラウドサービスOpenCanvasに口座保有者向け本人認証サービスを追加』
http://www.nttdata.com/jp/ja/news/services_info/2018/2018053102.html

◆お問い合わせ先◆株式会社NTTデータ 第四金融事業本部 e-ビジネス事業部 e-ビジネス商品企画営業担当
Tel：03-5484-4321 Mail：opencanvas@kits.nttdata.co.jp